行政サービス実施コスト計算書

（自平成21年４月１日　至平成22年３月31日）

（単位：円）

Ⅰ　業務費用			
⑴　損益計算書上の費用			
業務費	8,102,133,989		
一般管理費	3,845,693,458		
財務費用	12,195,310		
臨時損失	17,995,000	11,978,017,757	
⑵　（控除）自己収入等			
事業収入	△ 1,200,695,186		
事業外収入			
基金運用益	△ 157,464,000		
受託収入	△ 112,782,897		
寄付金収益	△ 10,727,982		
資産見返寄附金戻入	△ 199,865		
財務収益	△ 4,653		
雑益	△ 21,345,456	△ 1,503,220,039	
業務費用合計			10,474,797,718
Ⅱ　損益外減価償却等相当額			
損益外減価償却相当額	3,298,493,079		
損益外固定資産除却相当額	16,103,013	3,314,596,092	
Ⅲ　引当外賞与見積額			△ 31,785,301
Ⅳ　引当外退職給付増加見積額			△ 101,179,743
Ⅴ　機会費用			
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用	116,297,888		
政府出資等の機会費用（現物出資分）	1,364,016,140		
政府出資等の機会費用（基金分）	139,500,000	1,619,814,028	
Ⅵ　行政サービス実施コスト			15,276,242,794

注記

１．国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の算定方法
近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

２．政府出資等の機会費用の計算方法
国債の平成22年３月31日現在の運用利回りである1.395％を参考に適用しております。

３．国又は地方公共団体等からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額　61,749,284円

附属明細書

１．固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引当期末残高
							当期償却額	
有形固定資産（償却費損益内）	建物	456,775,289	2,387,154	—	459,162,443	115,870,504	24,717,776	343,291,939
	構築物	67,381,727	5,735,000	—	73,116,727	27,217,635	4,949,218	45,899,092
	機械及び装置	16,996,360	9,081,750	—	26,078,110	10,984,102	2,352,086	15,094,008
	船舶	—	23,633,480	—	23,633,480	484,101	484,101	23,149,379
	車両運搬具	76,180,148	13,037,627	—	89,217,775	41,399,049	12,292,437	47,818,726
	工具器具備品	1,046,515,849	68,440,343	73,163,430	1,041,792,762	512,821,774	140,671,123	528,970,988
	計	1,663,849,373	122,315,354	73,163,430	1,713,001,297	708,777,165	185,466,741	1,004,224,132
有形固定資産（償却費損益外）	建物	61,110,454,366	3,715,230,357	19,940,585	64,805,744,138	11,859,815,378	2,218,836,891	52,945,928,760
	構築物	17,973,204,001	338,546,935	4,068,056	18,307,682,880	10,278,874,728	998,553,216	8,028,808,152
	機械及び装置	312,839,897	—	3,535,277	309,304,620	151,596,750	36,537,630	157,707,870
	船舶	21,625,678	308,647	3,215,103	18,719,222	14,115,361	1,367,951	4,603,861
	車両運搬具	96,749,710	—	162,600	96,587,110	83,140,753	7,364,945	13,446,357